

市民力かわら版

第51号

平成28年2月1日
編集/市民力かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書広報課
電話：0287-43-3764
ファクス：0287-43-2292
Eメール：
yaita@city.yaita.tochigi.jp

日光東照宮に奉納した刀が 新宝物館に展示されました

平成二十七年四月から八月にかけて、矢板市民が中心となつて、日光東照宮四百年式年大祭に合わせ、木幡在住の加藤慎平氏製作の刀を奉納しようと「ご奉納刀実行委員会」を立ち上げました。そして、約千三百人のご理解と協賛を得て、十月に東照宮に奉納し、新宝物館に国宝の刀などと同じ場所に展示されました。

この実行委員会の小川三夫会長（矢板市名誉市民）、和氣邁事務局長（塩田）、および製作者の加藤慎平氏にお話を伺いました。

●式年大祭に加藤氏の作刀を奉納しようとした動機

矢板市在住の刀匠、加藤慎平氏の作刀をもっと多くの人に知ってもらいたい、という思いが第一の理由でした。さらにタイミングよく、日光東照宮の四百年式年大祭が挙

されたので記念にしてもらいたいとの思いで企画しました。

●東照宮で刀の奉納をよく受け入れてくれましたね

事務局長の和氣さんが東照宮に申し込みをして受け入れていただけました。三十年以上東照宮の仕事をしていた和氣さんが窓口となって進めたことが大きな力になりました。

四百年祭では、

いろいろなイベントが催されましたが、後々まで形で残るのは、

宝物館と奉納刀

だけでしよう。それだけに今回の企画は矢板市民の市民力による大きな成果です。

●今回の企画の成功理由

小川会長をはじめ顧問の先生方と実行委員の方々が、分担して市民に理解と協力を呼び掛け、また市民の方も実行委員を信用していただき、多くの賛同をいただきました。



東照宮に奉納した刀、芳名簿、桐箱（柿沼翠流書）



稲葉宮司に刀を手渡す加藤刀匠

●新宝物館での展示期間

二月から、愛知県豊田市で徳川家康四百年記念事業の一つとして、豊田市の博物館で徳川家康展が開催されます。そこに日光東照宮から貸し出した国宝の刀二振りとともに、稲葉宮司の推薦で加藤

氏の刀も展示されます。そのような理由で、今季は一月二十日までの展示でした。次回の予定は未定です。
栃木県の人だけでなく、愛知県の人にもこの刀を見てもらえることは本当にすごいですね。
(T・M)

刀匠 加藤慎平氏から

自分の作った刀を日光東照宮四百年式年大祭に奉納していただき、そして新宝物館に展示いただき、ありがとうございます。

これも実行委員会の方が中心になって、約千三百人の市民の方のご賛同とご理解がいただけただことだとお聞きしています。千三百人の重みを感じています。これからも精進し、作刀に励みます。

新宝物館には国宝、または国宝級の品々が展示されていますが、その同じ場所に自分の製作した刀が展示されたことに誇りを持っています。光栄と感激しています。本当にありがとうございます。